

2021 年度  
創発的研究支援事業 年次報告書

研究担当者	Vincenot Christian E.
研究機関名	京都大学
所属部署名	情報学研究科
役職名	助教
研究課題名	Pioneering the Discipline of Radar Aeroecology for the Global Study and Conservation of Airborne Animals
研究実施期間	2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

#### 研究成果の概要

本研究プロジェクトの初年度は、日本で利用可能なレーダー技術やインフラストラクチャを詳細に検討することに努めた。日本の飛翔性動物や関連する環境問題についての知見の整理を開始し、さらに、各機関からレーダーデータ構造を取得し検討した。それに基づいて、レーダーデータを利用した生態学研究の課題と解決策に関する評価を策定している最中である。また、レーダーデータへのアクセスと収集の可能性について、主要なレーダー事業者と議論および交渉を開始した。具体的には、生態学研究やバイオマス推定の学術的機会を提供するため、フィルタリングされていないデータにアクセスできるように、オンサイトレーダーデータ処理方法の変更について交渉している。

最後に、日本の応用レーダー生態学研究に関心を持つ主な研究関係者を集めることができた。残念ながら新型コロナウイルス感染症の世界的流行に係る渡航制限の影響を受け、直接の会議やフィールドワークを手配することができず、効果の低い電子通信に頼らざるを得なかったが、日本のレーダーエアロエコロジー新学問領域における組織的なイニシアチブを構築するため、既存の取り組みを再結集している最中である。